

## 令和3年7月 定例教育委員会会議録

開催日	令和3年7月21日（水）
開催場所	半田市役所 会議室305
出席委員	教育長 鈴木慶光 委員 久米宏和 委員 上杉直美 委員 榑原肇 委員 桂優子
説明のため出席した職員	教育部長 岩橋平武 学校教育課長 森田知幸 主任指導主事 鈴木康弘 指導主事 神野真輔 給食センター所長 前田成久 生涯学習課長 新美恭子 図書館長 山下由美 博物館長 関正樹 南吉記念館長 遠山光嗣
事務局	学校教育課総務担当主査 後藤友紀子
傍聴者	2名
議案	(1) 令和4年度使用小中学校教科用図書の採択について ①令和4年度使用小学校教科用図書の採択について ②令和4年度使用中学校教科用図書の採択（除く 社会歴史的分野）について ③令和4年度使用中学校教科用図書の採択（社会歴史的分野）について (2) 半田市立小中学校の通学区域を定める規程の一部改正について
協議事項	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
報告事項	(1) 寄附、後援願等について (2) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等について (3) 令和3年6月半田市議会定例会について (4) 各種事業について ①吹奏楽の響き in HANDAについて ②博物館講座「天然石できれいな万華鏡を作ろう！」について ③博物館講座「かんたん実験で地震について学ぼう！」について ④半田市文化財専門委員による研究発表「文化財よもやま話」について
各課事務連絡	図書館、博物館、新美南吉記念館、学校教育課、給食センター

〈 開会 10時00分 〉

1. 前回の会議録の承認	(事務局) 6月定例会の会議録について概要説明 →承認
2. 教育長報告	(教育長) ・6月23日に前市長が退任され、6月24日から現市長が就任された。選挙公約に掲げられた一つに、教育・子育て施策に関することがあることから教育委員会としては、今後も積極的に取組んでいきたい。また、委員からも積極的な意見を提案いただきたい。 ・7月3日(土)から順次、中学校の郡大会が開催されている。コロナ禍のた

	<p>め、どの種目も無観客として、新型コロナウイルス感染症対策を行い実施しており、熱中症対策としても余裕を持たせた日程となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月12日に知多地方教育事務協議会幹事会が開催され、知多教育事務所から今年度の教員採用試験状況について報告があった。小学校教員の募集人員は、前年度より110人増えたが志願者数が約50人減少したことに伴い、倍率は2.7倍(前年3.1倍)とのことである。なお、中学校教員の倍率は4.4倍(前年4.1倍)、養護教諭の倍率は8.8倍、栄養教諭は10.9倍となっている。小学校教員への倍率が低いため、今後への影響が懸念される。</li> <li>・7月13日に教育点検評価として学識経験者2名から外部評価をいただいた。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により各課予定していた事業の実施を見合わせるようになった面もあるが、実施できる内容については、各課工夫して事業活動を進めることができていた。</li> <li>・同日、制服を考える委員会を開催し、参加者から様々な意見をいただいた。併せて、アンケート調査を児童生徒に実施したところ、検討を進めて欲しい旨の回答をいただいたので、引き続き導入に向けた検討を進めていく予定である。現在、保護者アンケートを実施中である。</li> <li>・小中学生(12歳から15歳まで)のワクチン接種に関するクーポン券については、7月14日に発送した。7月18日現在の予約状況は、1回目の予約は約30%、2回目の予約は約25%となっている。予約した小中学生のうち、夏休み期間中に2回接種を終える割合は、約10%の見込みとなる。教育委員会としては、ワクチン接種の有無が児童生徒間のいじめや差別に繋がることのないように教職員を含め、事前指導を行うとともに十分配慮していきたい。</li> </ul>
<p>3. 議題 議案 1) 令和3年度使用小中学校教科用図書の採択について</p>	<p>(教育長) 半田市教育委員会会議規則第15条の規定に基づき本定例会議案第1号及び報告事項第2号の取扱いについて諮ることとする。 議案第1号「令和4年度使用小中学校教科用図書の採択について」は、知多教科用図書採択地区協議会から教科用図書の採択にかかわることについて、8月31日までは非公開とすることの要請が届いている。そのため、非公開として審議したいと考える。 また、併せて報告事項第2号「児童生徒の交通事故・問題行動等について」も個人情報を含む案件であるため、非公開としたいがよろしいか。</p> <p>(全委員) 異議なし</p> <p>(教育長) それでは、議案及び報告事項を非公開とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴者は非公開事案の間、一時退席。</li> </ul> <p>※教科用図書採択の審議内容については一時非公開(8月31日まで)</p>
<p>2) 半田市立小中学校の通学区域を定める規程の一部改正について</p>	<p>(学校教育課長) 前回の教育委員会にて承認をいただいた乙川東小学校、宮池小学校、花園小学校における通学区域の特例措置の解除に関し、このたび、半田市立小中学校の通学区域を定める規程の一部改正を行い、条文を整理するものである。 学校規模の適正化を図るため、通学区域の特例措置を実施している乙川東小学校、宮池小学校、花園小学校における今後の児童数推移をみると、</p>

	<p>本市の学校規模適正化に定めた学級数の範囲内で推移することが見込まれることから、現行の特例措置の解除を令和8年4月1日から施行したいとするものである。</p> <p>(教育長) 質問等がないことから、提案の通りとしてよろしいか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p>
<p>協議事項 1) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について</p>	<p>(学校教育課長) 「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について結果報告書に基づき説明する。令和2年度における本市の教育行政について、去る7月13日に、有識者2名に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき点検及び評価をいただいた。この点検評価は、定例教育委員会で協議、承認後、市議会に報告の上、本市公式ホームページにて公表予定である。 「学識経験者による意見」として、教育委員会全体に対しては、市内には色々な文化財があり、市民をイメージして事業やサービス提供を進めている点は重要な視点であり、大切であること。また、子どもの時に触れた文化が将来、大人になった際に市民1人1人のものになるため、文化振興をしっかりと進めて欲しいといった意見をいただいた。 また、部署別として、学校教育課を始め教育委員会所管の各課に対し、意見をいただいた。</p> <p>(榊原委員) 記載されている課題や問題点を克服し、評価として「◎」となるように取り組んでほしいと思う。教育委員の活動に関することは、記載のとおりコロナ禍により昨年度は、研修会等が中止されているのは事実である。関係団体との意見交換としては、各校へ訪問して情報交換等を行っていることから、そこで感じたことなどは今後もこの会議にて報告していきたい。</p> <p>(学校教育課長) 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた事業ができなかった場合には「△」評価としている。</p> <p>(久米委員) 新型コロナウイルス感染症の影響はあると思うが、昨年度比べて評価結果はいかがか。</p> <p>(学校教育課長) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が中止となったものもあることから前年度と比較すると「△」評価が多い結果となっている。</p> <p>(榊原委員) コロナ禍の中で、たとえ以前の状態に戻らなくても、これからの新しい取り組み方法を考えてもらえると良いと思う。</p> <p>(教育長) ご指摘のとおり、今後は新しい取り組み方法を踏まえ、考えていきたいと思う。</p>

	<p>(上杉委員) 食育に関し、給食センターが色々と配慮していると感じた。たくさんの児童生徒がいるため難しいとは思うのだが、除去食対応ではなく、今後は食物アレルギーに対して個別対応がなされるとさらに良いのではないかと思う。 また、いじめ・不登校対応については、子どもたちが抱える問題や悩みは様々であることから人員を増やしてもらえるとよりよいと思う。</p> <p>(給食センター所長) 食物アレルギー対応としては、個別対応は難しい状況であるが、今後も保護者、児童生徒との個別面談を寄り添った形で進め、対応していきたい。</p> <p>(学校教育課長) 相談員の増員は、すぐには簡単ではないが、現在いる相談員を可能な限り有効に活用して対応していきたい。</p> <p>(榊原委員) 地域には民生委員が存在しており、学校との懇談会を実施している。ケースによっては民生委員がその児童生徒の存在を知っていることもあるため、地域にも協力を求めると良いと思う。</p> <p>(学校教育課長) 地域にも協力を求め、連携していけるようにしていきたい。</p> <p>(教育長) 原案の通り、報告書として提案してよろしいか。</p> <p>(全委員) 異議なし。</p>
<p>報告事項 1) 寄附、後援願等</p>	<p>(学校教育課長) ・7件の寄附（内訳：2件生涯学習課へアップライトピアノ及び社会教育への興味関心を持ってもらうためとして本の寄附。2件図書館へマスク及び図書館資料充実としての本の寄附。3件新美南吉記念館への第33回新美南吉童話賞開催への現金寄附。）。 ・18件（うち、新規3件）の後援名義を許可。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>2) 児童生徒（園児）の交通事故・問題行動等</p>	<p>(主任指導主事) 令和3年6月14日～7月16日の交通事故・問題行動等について ○交通事故：1件 7月15日(木)1件 ○問題行動（被害）等：6件 6月18日(金)1件 6月21日(月)1件 6月23日(水)1件 6月25日(金)1件 7月3日(土)1件 7月8日(木)1件</p>

	<p>○交通事故以外の事故：4件  6月 22日(火)1件  7月 8日(木)1件  7月 12日(月)1件  7月 14日(水)1件</p> <p>○学校等被害：なし  ○不審者情報：3件  6月 15日(火)1件  6月 20日(日)1件  7月 15日(木)1件</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>3) 令和3年6月半田市議会定例会について</p>	<p>(教育部長)  令和3年6月市議会定例会では、8名の議員から一般質問がなされた。</p> <p>① 加藤美幸議員  新市長の半田市政への考え方に関し、選挙公約半田イズムに示されている幼稚園・保育園の質の向上とはどのような内容かと質問がなされた。  答弁としては、「半田市幼児教育カリキュラム」に基づき、幼稚園、保育園が同一の「めざす子ども像」を示した上で、各園の特徴を生かした保育を行っている。今後は「キャリア ABCD」の育成を図るとともに、若い職員の意見を取り入れたり、民間の視点を参考にしたりしながら、「生きる力を育むことに重点を置いた幼児教育カリキュラム」の作成を進めていく旨を答弁した。  続いて、不登校・ひきこもりの専門チームや ICT の活用についての質問がなされた。  答弁として、不登校やひきこもりの原因は、友人関係であったり、学業であったり、家庭であったりと様々であることから、現在は教育相談員を中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの職員や医療機関などが連携して支援している。今後は、民間や地域の方による体制づくりや、学校内の別室や自宅でもオンラインで授業を受けられるようにしたり、教育相談員がオンラインで相談活動を実施していく旨を答弁した。  次に、小学校の教科担任制の進め方とメリットについての質問がなされた。  答弁としては、小学校では一部の教科では担任以外の教員が指導することも多くなっていることから、これを発展させる形で教科担任制を進めていく。教科担任制のメリットは、専門性の高い指導を受けられ、子どもたちの興味関心が高まる授業になることである。教員にとっては、指導する教科が減ることで授業準備の効率化が図られ、個々に寄り添った指導・支援が可能になることである旨を答弁した。</p> <p>② 坂井美穂議員  コロナ禍で表面化した女性の問題（生理の貧困）に関し、小中学校の子どもたちへの生理教育に関する質問がなされた。  答弁としては、小学校4年生の保健の授業で、男女ともに同じ時間に同じ内容を学習し、通常の単元同様、テストも実施している。また、宿泊行事の</p>

前には、女子を対象に出発前指導を実施している旨を答弁した。

次に、学校で突然生理になった時の対応についての質問がなされた。

答弁として、小中学校は、保健室に生理用品を常備しており、生理用品を持ち合わせていない場合は、保健室にある生理用品を利用している旨を答弁した。

続いて、小中学校の女子トイレに生理用品を備えることについて質問がなされた。

答弁として、児童生徒の心身の健康や衛生環境を守り、安心して学校生活を過ごすため、女子トイレに生理用品を備え気軽に利用できるようにすることは、保健室だけに備えることと比べ、より心理的負担が少ないと考えられる。女子トイレに生理用品を備える取組みを進めていく旨の答弁をした。

なお、生理用品については、会期中に試行的ではあるが、亀崎中学校に設置した。

### ③ 沢田清議員

文化財等を活かした「まちづくり」として、まず、半田市に指定文化財と登録文化財が何件あるかの質問がなされた。

答弁としては、6月1日現在で、国指定文化財11件、県指定文化財5件、市指定文化財49件、合計65件の指定文化財と3件の国登録文化財がある旨を答弁した。

次に、半田市の文化財に関する計画について質問がなされた。

答弁としては、文化財の保存・活用に限定した計画はないが、生涯学習推進計画の中に、醸造・山車などの半田市を特色づける文化や文化財の保存・伝承について記載している。また、本年度策定予定の文化振興計画や博物館展示整備基本方針においても文化財の保存・活用について記載していく旨を答弁した。

続いて、文化財保存活用地域計画と歴史文化基本構想の違いの認識について質問がなされた。

答弁としては、文化財保存活用地域計画は、地方文化財保護審議会（本市の場合は文化財専門委員会）が設置されている教育委員会のみが策定することができる計画であり、文化財保護法に位置付けられたものであること。これに対し、歴史文化基本構想は、文化財を総合的に保存・活用するための基本方針として、市町村が任意に策定することができるものと認識している旨を答弁した。

続いて、県内の状況に関して質問された。

答弁としては、文化財保存活用地域計画は、名古屋市、岡崎市、西尾市、犬山市、蟹江町、南知多町の6市町が策定中であり、歴史文化基本構想は、名古屋市、豊田市、瀬戸市、知立市が策定済である旨を答弁した。

続いて、本市の両計画の策定予定について質問された。

答弁としては、文化財保存活用地域計画を策定するためには、保存活用に関する基本方針を始め、保存活用のための措置や、文化財を把握するための調査などを定めるとともに、文部科学省令で定めるものとして、指定及び修理に関する方針や、防災・防犯対策、修理技術等の伝承に関する取組みなど、多くの事項を定める必要がある。策定した計画が国の認定を受けると、利用できる国の補助事業が増え、補助率が嵩上げされるなどの利点があるもの

の、計画策定による効果が低く、多くの市町村が策定していない状況である。

このことから、まずは、半田市生涯学習推進計画や文化振興計画、また博物館展示整備基本計画により文化や文化財の保存活用を図っていく方針であり、現時点で両計画とも策定する予定はない旨を答弁した。

次に、文化庁が認定する日本遺産として、県内で日本遺産として認定を受けた市町村に関する質問がなされた。

答弁としては、名古屋市が「藍染が風にゆれる町有松」として、単一の市町村で申請する地域型の日本遺産認定を受けている。また、瀬戸市と常滑市が岡山県備前市などととも、「きっと恋する六古窯」として、複数の市町村が連携して申請するシリアル型の日本遺産認定を受けている状況を説明した。そして、現在の日本遺産は、国が全国で100件程度の認定を目指し、平成27年度から募集を行ってきたが、104件の遺産を認定できたとして、令和2年度末をもって新規認定を終了している旨を答弁した。

続いて、本市は日本遺産の認定を目指したことはあるかとの質問がなされた。

答弁として、本市は、常滑市、武豊町と連携し、平成27年度と28年度に、「水がつなぐ醸造のまち」というシリアル型の日本遺産申請を行ったが認定されなかった旨を答弁した。

最後に、文化財保存活用地域計画を活かした「まちづくり」を進める考えあるのかとの質問がなされた。

答弁としては、文化財は、本市を更に素晴らしいまちにしていくためにも大切に保存し、活用していかなければならないものと認識している。現時点では、文化財保存活用地域計画を直ちに策定し、「まちづくり」に活用していく考えはない。まずは、昨年度、策定した半田市生涯学習推進計画や、今年度策定する文化振興計画や博物館展示整備基本方針を具現化していく中で、市民全体による文化財の保存・活用を図り、「まちづくり」に活かしていく旨を答弁した。

#### ④ 伊藤正興議員

JR半田駅の旧跨線橋に対する今後の取組みとして、後世に伝えていくべき建造物と考えるかとの質問がなされた。

答弁として、JR武豊線は、県内で初めて敷設された鉄道であり、半田の発展に武豊線が果たしてきた役割を後世に伝えていく建造物としての価値がある。移設後の文化財的価値については、文化庁や愛知県、市の文化財専門委員会などの意見を聞く必要があるが、大切に守り伝えていくべき建造物であると認識している旨を答弁した。

次に、学びと体験が出来る保存方法についての質問がなされた。

答弁として、現在は、蒸気機関車とともに、「半田市鉄道資料館」を開設している。今後、保存会やJR半田駅周辺のまちづくりに関わる方の意見も伺いながら、多くの方に興味を持ってもらえる仕組みや仕掛けづくりをしていく旨を答弁した。

#### ⑤ 竹内功治議員

市長が掲げる教育環境の向上などを図るための取組みとして、不登校やひきこもりについて質問がなされた。

答弁としては、不登校やひきこもりの原因は、友人関係であったり、学業であったり、家庭であったりと様々であることから、今後は、現在の相談体制に加え、民間や地域の方による体制づくりを進めていく。さらにタブレットを活用した不登校対策も推進していく旨を答弁した。

続いて、ICTを活用した教育環境に関わる諸課題の解決についての質問がなされた。

答弁として、通信速度の低下などの課題には、速やかに必要な措置を講じるとともに、キーボードは、2学期から使用できるようにする旨を説明した。また、家庭におけるインターネット環境については、就学援助を受けている世帯などにモバイルルーターを配付するとともに、通信費を援助できる体制を整えていく旨の答弁をした。

最後に、教育先端都市の実現に向けた具体的な取組みや進め方に関する質問がなされた。

答弁としては、ICTの積極的な活用や授業研究により有効な活用方法を模索し、得られた成果を学校間で共有するなどICTを最大限活用した教育を実践していく旨を答弁した。

#### ⑥ 山田清一議員

ヤングケアラーの支援の推進として、ヤングケアラーの認識及び実態調査について質問がなされた。

答弁としては、ヤングケアラーの実態は、認知度が低く、また表面化し難いため、把握が困難と言われている中で、愛知県が令和3年6月議会で県独自の調査を今秋にも実施すると公表した。今後の国や県の動向を踏まえ、調査実施に向け準備を進めていく旨を答弁した。

次に、ヤングケアラーの支援に関わる研修に関する質問がなされた。

答弁として、ヤングケアラーに係る相談や困りごとに気づく可能性が最も高い教職員等に対して、問題意識を高め、対処方法等を学ぶ研修は非常に重要であり、関係機関との連携を図りながら研修や体制づくりに努める旨を答弁した。

#### ⑦ 中川健一議員

選挙公約にある「くらしを包むまちの温もり」にある政策の不明な点として、学校給食への郷土食の積極採用における問題点と改善策に関する質問がなされた。

答弁として、学校給食は、現在、毎日約1万人分の量を大きさなどの規格を指定し、予定の日時に確実に納品できるものを価格や品質、産地を比較検討し、給食費の範囲内で選定している。そのため、良質な地元食材であっても購入できない場合もある。しかしながら、より安心安全な地産食材であれば積極的に採用し、地産地消の推進を図りたい。購入費が保護者負担を超過する分は市が負担することも検討する旨を答弁した。

続いて、半田市が誇る文化の継承保全と学芸員による山車文化の発信拠点に関する質問がなされた。

答弁としては、令和3年度中に半田市立博物館展示整備基本方針を策定し、策定後は、本方針に基づき、祭礼民俗文化の保存団体などの協力を得ながら、博物館の魅力向上に取り組んでいく。また、これに併せて、文化を中心



に調査研究、情報発信を担っていける職員を育成する旨を答弁した。

⑧ 中村和也議員

コロナ対応として、長引くマスク生活による子ども達的情绪面への影響に関する質問がなされた。

答弁として、マスクを着けたままでは相手の表情が十分に見えないために、喜びや怒りなど相手の感情を理解できず不安になるなどの課題がある。マスク着用は重要だが、感染予防と情緒の安定を含めた心身の成長を考慮し、発達段階に応じた対策を講じていく旨を答弁した。

次に、マスクの着用と熱中症対策についての質問がなされた。

答弁として、子ども達の命を守ることを何よりも優先し、気温や活動内容によっては、一律のマスク着用は求めていない旨を説明した。子どもの顔色や体調の変化を常に注意深く観察しながら、今後も適切な指導をしていく旨を答弁した。

(久米委員)

タブレットを持ち帰っている学校は、オンライン使用ができるのか。

(学校教育課長)

オフラインでの使用となっている。

(桂委員)

生理の貧困のことを考えると、救われる子どもたちがいると思うので是非設置をしてほしい。また、生理を小学3年生から迎えたという話を伺うことがある。学校で急な変化に直面した子どもたちが戸惑うことを考えると、何かしらの対応をしてもらえると良いと思う。

(主任指導主事)

現在は、カリキュラムに基づき4年生の授業で実施しているが、学校の実情も踏まえ、対応については養護教諭と相談していきたい。

(榊原委員)

ヤングケアラーについては、新聞報道もされているが、該当ケースに当てはまる場合があるかもしれないので、まずは教職員が把握することが大切だと考える。

(上杉委員)

幼稚園・保育園の質の向上について、計画に基づいて進めていくことは大切であり、全ての園で実施できると良いと思うが、同時に教職員のスキルを上げることも重要であると感じる。また、マスクの着用については、言葉かけのあり方にも気を付けてもらえると良いと思う。

(教育長)

マスク着用への対応については、言葉かけを気を付けるようにしていきたい

	<p>い。</p> <p>(榑原委員) 学校給食において、大きさなどの規格を指定するのはなぜか教えてほしい。</p> <p>(学校給食センター) 学校給食では、大量に調理する必要があることから、搬入された食材は、機械にてスライス処理する。そのため、納品された野菜の規格に差がありすぎると処理に時間を要してしまい、調理時間が長くなってしまうため、指定しているものである。</p> <p>(桂委員) 不登校・ひきこもり児童生徒の中学校卒業後の対応について、どこが関わっていくのか教えてほしい。</p> <p>(指導主事) 中学3年生時点で不登校傾向にある生徒については、生活援護課に情報提供を行い、卒業後も支援が途切れないように対応している。 高等学校進学者についても希望者や必要に応じ、進学先の高等学校に情報提供を行っているが、進学後の情報が市側に提供されることは少ないことが課題であると感じている。</p>
4) 各種事業について	<p>(生涯学習課長)</p> <p>① 吹奏楽の響き in HANDA について 10月2日(土)に福祉文化会館大ホールで開催する。これまでは入場無料だったが、今回から入場料を1,000円とし、8月開催のガラ・ディストリビューコンサートの大ホールチケットを提示いただいた方は500円に割引させていただく。この吹奏楽の響きコンサートは、中学校吹奏楽部の技術向上を目的の一つとして行っているものであることから、中学校吹奏楽部及び小学4年生でセントラル愛知交響楽団のアウトリーチを経験した5年生、6年生を無料招待の対象とし、学校を通じて希望者を募っている。</p> <p>(博物館長)</p> <p>② 博物館講座「天然石できれいな万華鏡を作ろう！」 開催は、8月1日(日)。講座では、オブジェクトに小さな天然石(鉱物)を使った液体万華鏡を作る。液体の中で天然石がゆっくりと動くことで、様々な模様が美しく移り変わっていく様子が楽しめる。万華鏡作りのほかに、鉱物の性質や万華鏡のしくみについても解説を行う。</p> <p>③ 博物館講座「かんたん実験で地震について学ぼう！」について 開催は、8月8日(日)。講座では、ペットボトルと砂を使って地層のでき方や地震による液状化現象のしくみを学ぶほか、小麦粉などで作った地層模型に力を加えて断層を生じさせることで、地震が発生するしくみについても学習する。</p> <p>④ 半田市文化財専門委員による研究発表「文化財よもやま話」について 市民講座として定着してきた本講座だが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら中止した。今年度は、三密回避を行い、開</p>

	<p>催場所を博物館視聴覚室から第一会議室に移し、事前申し込み制にて開催する予定である。半田市報 8・9 月号、市ホームページ、ちらし等に掲載し、広報する。満席で参加いただけなかった方には資料を後日配布する等の対応を行う。開催日は、9 月 11 日(土)から 10 月 30 日(土)までの全 8 回講座。16 時から 17 時 30 分までの時間帯で開催する。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
<p>各課からの事務連絡</p>	<p>(図書館長)  「オタッシャ健康教室 2021」について  9 月 23 日(木・祝) 午後 1 時 30 分から、亀崎公民館 2 階ホールにて開催する。シニアヨガと音読を組み合わせ、心身の活性化を図る。シニアヨガの講師は、ゲストティーチャーに講師登録されている松井りさ氏。8 月 20 日(金)から 31 日(火)まで亀崎図書館で申し込みを受け付け、応募者多数の場合は抽選を行う。</p> <p>(博物館長)  「旧中埜家住宅どうぶつたちのなつやすみ」について  旧中埜家住宅の美しい外観を活かした活用として、昨年度に引き続き、窓から顔を出している動物たちを探していただくクイズを行う。期間は、8 月 5 日(木)から 9 月 5 日(日)まで。期間の途中で動物パネルの入れ替えを予定している。回答は、博物館受付に提出いただくが、その際、参加者の方にささやかなプレゼント(旧中埜家住宅や動物などのマグネット)をお渡しする。小さな頃から旧中埜家住宅に親しんでもらいたいという思いから、幼児も参加できるシンプルな企画にしているので、夏休み中のお子様方にぜひ楽しみながら文化財に親しんでいただきたいと思う。</p> <p>「現在常設展示室Ⅱに展示中の亀崎石橋組青龍車のからくり人形」について  石橋組では技の伝承と技術の向上のため毎月からくり人形の操作練習を行っているが、展示期間中は練習が行えなくなってしまうことから、このたび、毎月第 4 日曜日に実際に展示中のからくり人形を操作して練習したいと申し入れがあった。新しい展示の試みとしてぜひ依頼したいと考え、感染予防に十分配慮をしながら練習を行っていただき、その風景を来館者に見学してもらうことで、新しい動く展示を実現することができると考える企画である。より多くの方に見学していただけるよう、館内にポスターを掲示し告知するとともに、ホームページや半田市 LINE でも情報を発信していく。</p> <p>(新美南吉記念館)  新美南吉記念館では、7 月 17 日(土)から特別展「コロナ禍に南吉を読む～感染症と新美南吉～」を開催している。市民に興味を持っていただけそうな内容としては、現在の中野整形外科にあたる旧中野医院についての展示がある。昭和 17 年に南吉が診てもらった際の日記の記述や中野家からお借りした当時の医療器具などを通して紹介している。現院長の先々代が南吉を診察したが、その先生の頃から使っていた調剤用の天秤ばかりは、もしかしたら南吉が処方された薬を計量したものかもしれない。10 月 24 日(日)までの会期のため、委員には会期中にお越しいただきたい。</p> <p>次に、生きていたらもうすぐ 108 歳の誕生日を迎える南吉の生誕祭である。今年も新型コロナウイルス感染症対策のために人を集めての行事がしにくいので、郵送やツイッターなどでお祝いメッセージやイラストを募集す</p>

る。また、紙で大きなケーキを作り、そこに飾るための造花を来館者の皆さんに作っていただいている。家族連れが結構楽しんで参加してくださり、既に300個ほど集まっているので、これをケーキや会場の装飾に使う予定である。誕生日当日の7月30日(金)は自由に参加できる、これは本物のお花の献花と南吉クイズを行い、当日は記念館を無料開放する。

続いて、8月7日(土)には、夏休み「ごんぎつね」教室を行う。これは夏休みに親子で「ごんぎつね」について学んでもらおうというもので、市のバスを使って「ごんぎつね」ゆかりの地を巡ったり、作品が書かれた背景について話を聞いたり、はりきり網や火縄銃といった作品に登場する昔の道具を触って体験することができる。申込制で現在予約受付中。

(学校教育課長)

令和3年度コミュニティ・スクール推進提案事業だが、各校の助成金が決定したため報告する。

令和3年度の助成額は、半田中学校30万円、宮池小学校10万円、花園小学校40万円、亀崎小学校20万円である。

(主任指導主事)

「市内中学校の制服」について

市内中学校では、制服は詰襟・セーラー服としてきたが、最近では、気候の変化が激しくなっており、学校によっては夏服と冬服の移行期間を長くしたり、体操服での登校を認めたりするなど、気候に合わせた対応をしている。また、生活様式の変化から女性がパンツスタイルを選ぶことも増えてきている。さらに、本年6月に、市内5中学校の生徒会代表者が行った「生徒会サミット」では、現在の制服について、暑さ寒さへの対応や性差への対応などに課題を感じていることが明らかになった。

このような状況の中、今後中学生が着用する制服の在り方について、扱いやすさや性差への対応、価格等多角的に検討するとともに、実態に合わせた幅広い選択を可能にすべく新たな制服の導入を進めたいと考え、「令和の時代の制服を考える委員会」を設置した。

7月13日(火)に行われた令和の時代の制服を考える委員会では、新たな制服導入についての目的について話し合い、2点に整理。

- ① 暑さ寒さへの適応としては、1年を通して快適に過ごすことのできる制服の導入を目指す。
- ② 時代への適応としては、フォーマルな場にも適し、多様性・機能性・快適性・経済性等時代に適応した制服の導入を目指す。

この目的を達成するため、導入に向けた基本的な考え方4つに整理した。

- ① 市内統一型ブレザーを併売方式(現在の販売方式と同じ)による導入をす。導入する制服の範囲は、ブレザー・スラックス・スカート・キュロットとする。
- ② 児童生徒・保護者・教職員への情報提供と情報収集を断続的に実施し、考えを広く共有する。
- ③ 半田らしさを取り入れた制服の在り様を総合的に判断し、決定プロセスに透明性をもたせる。
- ④ 新制服導入後の運用については、各中学校で決定するものとする。

今後は、マスターメーカーの選定及び児童生徒・保護者アンケートを実施していく。なお、マスターメーカーとは、新制服決定・導入・運用など、新制服の導入に必要な支援を全面的に行ってもらえるメーカーのことである。

また、児童生徒アンケートについては、昨日までにタブレット端末を活用して実施した。保護者アンケートは、現在、オンラインアンケートで実施中

	<p>である。このような目的や考え方のもと、取り組みを進め、令和5年4月導入を目指していく。</p> <p>(給食センター所長) 「夏休み親子料理教室の中止と動画配信」について 夏休み親子料理教室については、例年参加者を募集する5月、6月に、新型コロナウイルス感染症防止措置により公共施設での会食禁止の方針などが示されていたことから、今年度も開催を中止する。しかしながら、今年度は、代替対応として、ホームページ上に夏休みのお昼ご飯の参考とし、また、夏休みの調理体験をしてもらうための「夏休み親子料理教室動画」を掲載する。動画撮影は、これからのため完成していないが、準備が整い次第、掲載していく予定をしている。なお、児童生徒には7月の献立表にて事前予告している旨を報告させていただく。</p> <p>(委員からの質問等なし)</p>
次回開催等	<p>(事務局)</p> <p>次回の定例教育委員会は8月27日(金)13時30分～ 会場：半田市役所会議室305</p> <p>次々回の定例教育委員会は9月24日(金)10時30分～ 会場：半田市役所会議室404</p> <p>7月定例教育委員会を終了する。</p>

〈 閉会 12時25分 〉